medi-way 医療通訳だより



Medi-Wav 医療通訳者紹介 Vol.23 ベトナム語担当 バックさん

◆なぜ医療通訳者になった?

通訳の仕事を見つけるための就職活動中に、中学生の時に興味深く聞いた生物の話を思い出し、 「生物学分野」の募集を中心に探したところ、運よく医療機関に採用され医療通訳の仕事に関わる ことになりました。



◆今まで医療通訳に携わってきて一番嬉しかったことは?

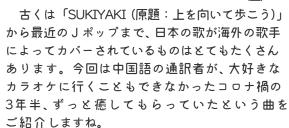
日本の理学療法士の技術指導に同行し、枯葉剤の影響を受けたベトナムの貧しい村を訪れた ことがあります。背骨に異常のある子どもへの筋肉マッサージ指導が目的で、私が通訳しました。施術が終わり、 ボランティア団のバスが走りだすと、患者のお父さんが追いかけてきて自分たちで作ったココナッツの房を渡して くれました。わが子の背骨の曲がりは悪くなる一方だと思っていたのに、施術の効果を見て、また希望が持てたと お父さんは目に涙を浮かべて話されました。私自身は言葉という道具しか持っていませんが、ベトナム人の患者さん たちにより良い医療が届く力になれたことを実感でき、忘れられない貴重な経験となりました。

◆より良い通訳をするために心掛けていることは?

病気になったというだけで、誰でも不安になり、ストレスを感じるものだと思います。自分の病気のことを、頼りに している医療従事者にちゃんと分かってもらえたなら、それだけで不安が和らぎ、病気に立ち向かう大事なファースト ステップになるかと思います。患者さんの言葉を最初に受けとめるのが通訳者なので、リラックスして思っていること を話してもらったり、聞きたいことが聞けるように、通訳時の相槌や話すスピードに気を付けています。







まずは蔡淳佳の「陪我看日出」です。この元歌は 「涙そうそう」です。この人は中島美嘉の「雪の華」 も中国語で歌っていますよ。

次に「下一页的我」王心凌です。直訳すると 「次のページの私」、さて元歌は?いきものがかり 「YELL」です。

最後は「后来」刘若英が歌っています。元歌は Kiroro「未来へ」です。この人はアンジェラェアキの 「手紙~拝啓 十五の君へ~」もカバーして歌って いますが、ベトナム語通訳者によると、この歌は ベトナム語でもカバーされて、今や学校の卒業式 の定番だそうです。YouTubeで簡単に見つかり ますので、ぜひ一度お聴きになってみてください。











オンライン通訳を行う際に通訳者が気をつけていることに ついて、今回は身だしなみ編をお伝えします。

まず当たり前のことですが、どのような通訳シーンになるか わからないため、服装は医療の現場に相応しいものを選びます。 華美すぎる服装、全身キラキララメだったり、宝飾品ジャラジャラ など、とにかく派手なものは NG です。色で言えば真っ赤な 洋服や極彩色のプリントなど、いくら画面を隔てているからと 言っても、診察室の皆さんの目がチカチカしてしまいますよね。 あるベテラン通訳者は、特に精神科の通訳が予定されている日 にはベージュを基調にした落ち着いた服装を心がけていると 言っていました。

通訳センターでは、毎日午前午後の各1回、接続テストを 行い互いの音声や映像を確認し合います。そんな時に画面に 映る自分を見て、襟元や髪の寝癖を整えることも。

足元は、オンライン通訳では見えない部分ですが、同行通訳の 場面なら当然ながら転びそうな高いヒールは履きません。実は Medi-Way 勤務中も、他の通訳者のもとに駆け寄り、音声。 映像に問題なくスタートできたかな、などサポートに回る ことがあります。動きやすい足元というのも大切なポイント の一つです。





















